



## 17年度 市民おもしろいなカレッジ

市民が企画し、市民が教え、市民が学ぶ、市民が主役の講座です。

### 茶道講座 原田宗芳先生

第1回5月12日～第5回6月9日終了。第2回茶道講座が行われている北部コミュニティセンターを訪ねました。

『席入』がこの日の主な内容で、原田先生の軸・花・茶碗などの話にみなさん熱心に耳を傾けていました。子どもさんを連れての方や、二十代の時やっていたという方、男性の方もいらっやって、とてもなごやかな雰囲気の中、厳肅な心地よい空気が流れていました。いよいよお菓子とお茶を頂き話を聞きました。「無理なく覚えられて楽しい。」「忙しい世の中で、静の動きがよい。」などみなさん満足な様子でした。また、先生からも「実にみなさん進歩がよろしい。」とお褒めの言葉がかえってきました。日本の伝統文化にふれたひと時でありました。

(鈴木)



### 舟山会民謡教室(初心者)

渡辺山千代先生



第1回4月21日～第10回1月9日。第1回民謡教室を置賜総合文化センター和室を訪ねました。参加者8名(男性2名)。自己紹介ではみなさん、初めてなので自信がないとおっしゃっていました。

まず先生の秋田節を聞きました。張りのある大きな声と三味線の音色で、背筋がシャンとなるようでした。民謡っていいですねえ!

民謡の教科書の見方、高い音のしるし・こぶしをつけるところ・3つ伸ばす・ブレス・間の場所など説明がありました。2・3回先生の後について謡っているうちに「民謡は、口を開けて大きな声ではっきりと、手拍子を取れるようになっただけでもすごいんですよ」との先生のお話になるほどと思いました。初めの自信なさそうなご様子は何処へいったのでしょうか?秋田節、みなさん謡えるようになってニコニコ顔になりました。とても楽しそうでした。

(我妻)

## 「地域学の可能性」

講師 東北芸術工科大学 教授 東北文化研究センター 所長 赤坂 憲雄氏

### 東北学のスタートは挫折の積み重ね

東北学への挑戦は、最初は一人でやろうとしたが、1回目はフリーの編集者、2回目は出版社の社長が手伝ってくれることになった。しかし、「金儲けにならない」などの理由で手を引かれた。3度目は、大学で始めた。それまでの活動で、一人の力では出来ないことを学んだ。今度は支えてくれる人は多くいた。

10年前、地域学は発展していなかったため、出版文化を中心にやることにした。



### 地域学は集まった人でつくるもの

地域学は人である。イベントではない。地域学は生きている現場から始まる。そこに集まってきた人たちでつくりあげるもの。小さい地域を伸ばし、横に連携してのばしていけばよい。

### 地域学の可能性

地域学のグループは全国に300ほどあり、自分たちで自分達の歴史を掘り起こしている。この活動を見ていると、新しい地域のイメージをつくっていくよりどころになると感じている。

(詳しい内容は鷹山大学本部まで問い合わせ下さい。)



### 拝聴して

舟山久美子

静かに後の席に着く。久しぶりの講演会。あらためて、立派に先生のお話を聴く機会もなかったので「聴く」ということに急に緊張してしまった。内容をしっかり頭に入れようと、あせってペンを走らせる。走り書きなので解読が困難。「地域学」って本当に何？地域の事が学問になるの？そういえば韓流ブームも今や「韓流研究」とかいう学問になっているようで、今は知りたいことが学問や研究になっていくんだね。鷹山大学にも「市民おしよしなカレッジ」講座がある。自分が知りたいことを学べるいい時代だと思う。

「地域学」って私が感じたことは、1人では事はできない。何かを進めていく時、人脈や経済的援助が必要となる。地域=人、地域の中で、どんな人がその地域を作っていくか？が地域学ということかな？地域の個性、特徴、個として一人の人間として、心に強く印象に残った言葉は「地域に生きる誇り」。「生きる誇り」私にあるだろうか、持ちたいものである。人生も折り返しをすぎ、半分ふり返り半分将来を見ずえて生きていきたい。

よねざわ学アカデミー会員募集中！鷹山大学本部まで

## 参加者募集中

## 1 今に生きる上杉鷹山の教え

鷹山公の教えを調べ、現在に活かされている具体例などを調査などによりまとめる。関連させて、鷹山の殖産振興策の現在社会への浸透状況も調べたい。

## 2 義経の時代の米沢

まずは、今 NHK の大河ドラマでやっている「義経」の時代の米沢の様子を調べる。

## 3 米沢にまつわる歌舞伎演目

今朝 24 孝など米沢にまつわる話があります。

## 4 近世の米沢の庶民の生活と文化

米沢に伝わる山岳信仰、食文化、年間行事、伝統芸能、庶民の暮らし、こどもの遊び、わらべ唄、民話、等々を調べ、地域おこしに役立てたい。

## 5 米沢の旧町名

米沢の旧町名は、いまなお生き続けている。由来や、どんな町だったのか、どんな人物がいたのか。

## 6 米沢海軍から学ぶ人づくり

日本海軍歴史の中で、米沢興譲館高校（中学）卒業生から 31 名の提督が出ています。あらゆる知恵をだして人づくりに努めた事績を研究したい。

## 7 米沢市は何番目？

多様な視点から見ると、米沢は全国・県・レベルで生活・自然環境など各分野で、何番目に位置するか知りたくないですか。

## 8 中世・近世を中心とした米沢の歴史

当時の物価を今の金に変換する。また年貢はどういう仕組みになっていたのか。鷹山公が大俵令(俵約)を出すに至るがその 1 2 項目の中味とはなど。

## 9 米沢市における水路と農業について

どのように水路を作ったか、それによって農業がどのように進んでいったか。これからどうするか。

## 17 年度第 1 回

## わいわい講座

## 『太極拳をやってみよう』

6 月 5 日(日)午前 10 時～12 時、文化センター展示室にて実施しました。充実した内容で、参加した皆さんの満足度も高かったように思われました。最初のぎこちない動きが、2 時間足らずで太極拳らしい形に近づいていき、最後は音楽に合わせて全員で入門太極拳を数回演武して終了しました。ゆったりゆっくりの動きが結構体に効いたみたいで、皆さん汗ばんで帰られました。(新関)

## 参加者の声 遠藤幸子さん

使っていない筋肉が、「ギャー」とヒメイあげてました。先生がおっしゃいますには、自分をあまやかしていたからとのこと。「なーるほど、なっとく！」あまり、きつくない動きなのに汗が（油汗？）でました。中国の音楽も気持がよく、へたくそな動きな

のに、うまく感じてしまったのは私だけですか。  
(いいえ！とてもお上手でしたよ。本部)



お申し込み お待ちしています！

第 3 回「マナビスト風郷土料理」8 月 7 日

第 4 回「かくれた米沢史跡めぐり」9 月 4 日

第 5 回「作ってみよう、織ってみよう」10 月 1 日

21 - 6 1 1 1 鷹山大学本部

## 鷹山大学本部からのお知らせ

### 米沢鷹山大学ガイドブック後期情報編

掲載する情報を募集しています。

申込締切は、7月15日です。

ご質問やご相談は、鷹山大学本部にご遠慮なくお申し出下さい。

10月から3月までの講座・イベント情報を満載し9月15日号広報の折込でお届けします。お楽しみに！

### 決定しました！TVでおなじみ

#### 山田五郎講演会

#### 街歩き・街の再発見 身近な地域学について

9月17日(土)午後3:00~

置賜総合文化センター ホール

お待ちしております。お誘いあわせ来て下さいね。

### 今年の生涯学習フェアについて

みなさまの発表・作品の展示を楽しみにしています。  
10月8(土)~9日(日) 市営体育館

### 米沢市生涯学習ボランティアマナピスト

社会通信教育編を修了し、新しく2名の方が米沢市生涯学習ボランティアマナピストに認定されました。

佐藤 豊臣さん 平中 知永子さん

### まだ間に合う市民おしょうしなカレッジ

- 体験「そばの一生」  
小学生対象 〆切7月22日
- トールペイントにチャレンジしよう！  
小中学生対象 〆切7月29日

発行：米沢鷹山大学本部  
マナピスト

事務局：〒992-0012 米沢市金池 3-1-14  
置賜総合文化センター4階  
TEL 21-6111(内線 6423)  
FAX 21-6020

#### ホームページアドレス

<http://yozan.educ.yonezawa.yamagata.jp/>



## サークル紹介

### 川柳米沢松川吟社

会長 山口まもる

今 川柳が旬です。川柳は日常生活を17音字で表現する文芸です。一句の中に笑顔・憤り・涙をこぼし、ユーモアに転げる。そんな楽しい生活実感のある川柳、人生を大いに楽しむ川柳と一緒に作ってみませんか。毎月第4日曜日午後1時30分より、置賜総合文化センターで開催(見学大歓迎)。

問い合わせ・松谷 電話 22-8178

### 岸田カウンセリング教室

代表 石山隆

カウンセリングを学ぶということは、人の話のきき方を学び、自分の人間的成長に大きなプラスになります。と一緒に学んでみませんか？

問い合わせ・我妻(夕方~夜) 電話 38-4114

### 月曜会 金剛流小謡教室

代表 高田伯泰

米沢のお祝いの席で謡われる「祝謡三題」を練習します。

問い合わせ・高田 電話 21-2752

### マナビ通信をご利用下さい

サークルやイベント・クラブなどの紹介やお知らせなどありませんか？ 鷹山大学本部へご相談ください。無料ですので、お気軽に！

おもしろ温泉シリーズ(6) 松谷忠一



#### 温泉饅頭(まんじゅう)の由来

湯上りの一服のお茶とお茶請けのお菓子は、心が癒される。

饅頭の形状と価格が全国的にほぼ同じということもおもしろい。饅頭の色は白色と茶色(黒砂糖入り)が多い。大きさは、2~3口くらいで食べられる。価格は1個70円が多い。饅頭の皮とあん、各店の特徴がある。

温泉饅頭の名前と由来については、諸説がある。4つの説にまとめられる。

- 1説：温泉を饅頭の皮に混ぜている。
- 2説：温泉で饅頭を蒸している。
- 3説：饅頭を温泉の色に似せた。
- 4説：温泉で販売しているため、温泉饅頭としている。

温泉地で温泉饅頭に出会ったら、名前の由来について聞いてみましょう。

